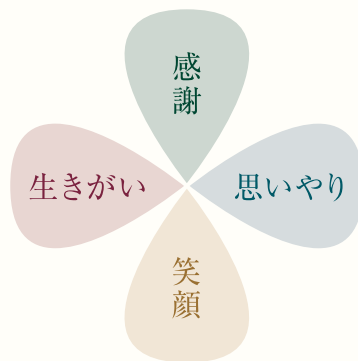


# あ～、いい人生だった。

その一言を願い、介護に関わる人達の「味方」となり  
介護を知らない人達に介護の「見方」を伝えたい。



## 介護保険では対応出来ないサービスはこちらへ

- 倉庫や部屋の荷物を片付けたい
- 掃除や洗濯、料理などを手伝って欲しい
- 庭の枝や草が伸びてきたので切って欲しい
- 不要品の処理を頼みたい
- 病院に付き添いで行ってほしい
- 頼みたいことはあるけど、それに掛かる金額がわからない等

その他にも様々な相談を受け付けています。  
まずはお電話を!

発行 / 株式会社クローバー 〒870-0118 大分県大分市下徳丸30番地の1 TEL.097-528-8030

# ヘルパーステーション 介護のみかた

KAIGO NO MIKATA

自分らしく生きる。



●ヘルパーステーション 介護のみかた

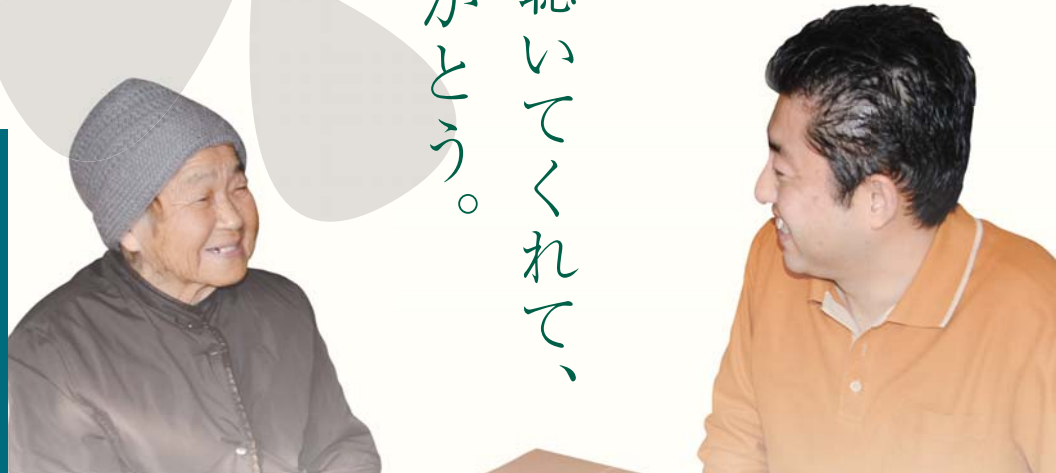
●生活わくわくサポート お年寄りのみかた

☎097-528-8030

株式会社 クローバー

words of memories

話を聴いてくれて、  
ありがとう。



「ばあちゃんとじいちゃんは、どうやって知り合ったん？」私がそう尋ねると、遠くを見つめ少しずつ思いつくように話し始めた祖母。私が介護の仕事を始めて1年が過ぎた頃の話です。実家に帰ったついでに祖母を訪ねた時、何気ない会話が始まりました。「近所の〇〇さんと〇〇さんがじいちゃんを連れて家に来たんよ！そして、そのまま結婚することになってな〜」「え〜、はじめて会った日に結婚したん？」「昔はそんなのが多かったんで〜！邦仁はわからんかもしれんが、そりゃ〜じいちゃんは男前でな〜」と恥ずかしそうに、そしてとても嬉しそうに話してくれました。気が付けば、私の知らなかった話をたくさんしてくれ

た祖母。そのうれしそうに話す言葉の中に出てくる、長い人生を過ごしてきた祖母の想い。聴いているうちになんだか急に、じいちゃん、ばあちゃん、父や母に対する感謝の気持ちがかみ上げてきました。とても温かい気持ちになれたお礼を伝えようと思った矢先、祖母の口から出てきた言葉は「今日は、ばあちゃんの話聴いてくれて本当にありがとう」という言葉でした。「話を聴いてくれて、ありがとう」。今では私の祖母だけではなく、ご縁をいただいた多くの利用者の皆さんにそう言って頂けるようにスタッフ一同、心と心の通った関わりを目標に頑張っています。一人でも多くの利用者の方の笑顔に出会えるように…。

クローバーが考える介護とは

介護について考えるきっかけ

「私のおばあちゃんがパーキンソン病で2年前におじいちゃんが亡くなり一人で暮らすようになって心配なので、おばあちゃんと一緒に住んでもらえんかな〜」という相談を妻から結婚する前に受けました。また、「旦那さんと長い間暮らした思い出いっぱいこの家で最後まで暮らしたい」という想いも聞きました。私は佐賀関の田舎育ちで両親が共働きだったため、近くに住んでいた祖父母に育てられました。祖父母が漁師だったので、保育園のお迎えが船だったことを覚えています。そんな経験から祖母と一緒に住むことに不安はありませんでした。そんな祖母の病気が進行し、一人でお風呂に入るのが心配になってきたので介護保険サービスを活用することになりました。始めは家の中に他人が入って来るのに違和感を覚えましたが、介護士の方が祖母の話をよく聞いて、丁寧な声かけでお風呂に入っている姿を見て、介護の仕事っていい仕事だなと思うようになりました。

利用者さんの人生について  
親身になって考える

そんな祖母が他界し、私は介護の道に進みました。そこで感じた事は、祖母からもっと色々な話を聴けばよかった、祖母の人生ってどんな人生だったんだろう、祖母はやりたいことはなかったのだろうか？などなど、もっと話を聴く時間を多く持てば良かったと後で

その人の人生に寄り添うこと  
介護という仕事は、

気付き後悔しました。私はこの経験から、一人でも多くの方の話を聴くことにより、その方の「あったこと、やったこと」などを一緒に探してお手伝いをするとともに、「やりたかったこと、やり残したこと」などを聴き出し、それを叶える為のお手伝いができたらと考えています。

介護とは関わりを持つこと

私たちの目指す介護とは、生活することに対する安心・安全はもちろんのこと、人生の集大成の時期に関わることにより「あ〜いい人生だった」「あなたたちに出会えて良かったわ〜」と言ってもらえるような関わりをすることです。高齢者の方たちと話をすると「長生きをしたくない」という人が増えているように感じます。「長生きをしたくない」ではなく、「私は長生きがしたい」と多くの方が言えるようなまた長生きすることに喜びを感じられるような関わりをしていこうと思います。

株式会社クローバー  
専務取締役 秦 邦仁



01  
interview

## 介護士ってどんな仕事?

### 私にできる最高の笑顔 を届けたいから

介護士 小山内 美馨 介護歴/2011年より

**実** は私は今でこそ言いますが、人嫌いだったんです。それは小さい頃から父親に育てられ身寄りも少ない中で育ってきたので、昔からなんとなく人と接するのが苦手だったんです。そんな私が人と触れ合う仕事を始めたきっかけは、社会人になり工場勤務を経て調理師をしている家族へ嫁ぎそのお店の手伝いを始めた時からでした。

その後、居酒屋で10年ほど女将として働いていたのですが、その当時の常連さんで介護の仕事をされていたお客さんから「あなたは笑顔が素敵だから介護の仕事があっているのでは?」って言って頂いたことがありました。その時私は、そんなことはないわ~なんて思っていたんですけど、ただ私もその後介護の仕事に興味があったのでヘルパーの勉強を始め、いつの間にかこの仕事を始めることになりました。そんなある日に利用者さんから「あなたの笑顔を見ると私まで元気になるわ~」と言われました。この言葉を聞いた

時に10年前にある常連さんが言った「あなたは笑顔が素敵だから介護の仕事があっているのでは」という言葉を思い出して「はあ~! 私はこの仕事を選んで本当に良かった」と改めて感じる事が出来ました。

今、私はこの仕事を通して凄く人を好きになれる自分がいます。なんだか介護をさせて頂く皆さんが身内の様な感覚で、皆が笑顔になってくれたらいいな~という風に感じられるようになってきたのです。介護の仕事は自分を高めていく仕事だと感じています。これまで多くの人生経験をした方達と触れ合い話を聴くことにより、自分になかった部分を利用者の皆さんに埋めて頂いている感覚があり、とてもやりがいを感じ楽しくお仕事をさせて頂いています。これからも「あなたの笑顔を見ると私まで元気になるわ~」と言ってもらう為に自分自身の体の状態・心の状態を整えて皆さんに今の私にできる最高の笑顔をお届けしたいと思っています。



## 私が介護の仕事続ける理由

02  
interview

### あのときの患者さんの 言葉に支えられて

介護士 今村 郁美 介護歴/2011年より

**今** まで私は、介護とはケアプランに沿ったサービスをすることが当たり前だと思っていました。そんな私の考えを一変させたのは、あるお客さんの一言がきっかけでした。

「私は今まで色々なサービスを受けてきたけど、あなたがあの時にこんなことを言ってくれたでしょ。あれで私は元気になったのよ」

昔、精神科の看護助手の仕事をしていた時患者さんとの関わりの中で「もしかしたらこういう仕事こそ、私がやりたい仕事なんじゃないのかな~」とぼんやり感じていたときの事を思い出しました。その病院を退職し別の仕事を始めたのですが、どうしてもその時の自分の気持ちに嘘がつけなくて、もう一度あの頃と同じ気持ちで働ける職場を探していた時に、幾つものご縁が繋がって【介護のみかた】で働かないかとお誘いを頂いたのです。

そうして2011年2月、私の介護人生が始まりました。

「あなたがあの時にこんなことを言ってくれたでしょ、あれで私は元気になったのよ」というお客様の一言が、私が今、介護という仕事に関わらせていただく時に、もっともっと利用者さんに喜んでもらうためにはどうしたらいいかという強い気持ちにつながっています。私が発している言葉・私の接している態度・私の表情などで、お年寄りの皆さんが元気になるのだとすれば、介護サービスって私のやっていることだけではなくて、私の接しているすべてがサービスなのだとすることに最近ようやく気付きました。

あの時にあの場所で、あの言葉をかけてくれた利用者さんに今でも感謝しています。これからも、私が関わることで「私のことは、あなたにすべて任せよう」と言ってもらえるように、また一人でも多くの方が安心して生活が出来るように、今の私にできる精一杯の笑顔で接していこうと思います。







How About Clover?



## 大好きなことを 続けられて嬉しいわ

87歳女性 後藤さんのお話

### 後藤さんとの出会い

買い物と料理が大好きで、作った物を誰かに食べてもらうのが生きがいであった後藤さんとの出会いは、2012年9月の、まだ暑さの残る秋のことでした。一人暮らしの後藤さんは、数カ月前に膝を悪くしてしまい入院していましたが、もうすぐ退院するというので会いに行きました。



### 買い物と料理を一緒に

お会いしてお話をお伺いすると、『まだ膝が痛いから退院後に近所のスーパーまで買い物に行けるかな』『長時間の台所作業が出来るかな』という不安を抱えられていました。でも私は後藤さんが大好きだった買い物と料理を一緒に作れるようになってさしあげたいと思ったので、「後藤さん、ご自分の目で見て買い物をすると楽しいですし、外を歩くと季節も感じる事ができ、リハビリにもなりますよ!」とお伝えしました。しかしその時の後藤さんは『そうは言ってもなあ〜。私はもう足が痛いし、歩くのもしんどいし、もういいよ〜お惣菜で!』と一言。



後藤さんの負担にならない範囲で、それでもやっぱり大好きな料理を作っている後藤さんの姿が見たくてこう伝えました。「後藤さん、その気持ちはわかりますが私も手伝いますしゆっくりでいいので、とにかく一緒に買い物に行きましょう!そして料理を一緒に作りましょう!』『そうやなあ〜あなたがそう言ってくれる

なら、じゃ〜頑張ろうかな〜』と、ゆっくり休み休みですが買い物に行き始めるようになりました。それから数ヶ月が経ち、頑張り屋の後藤さんは買い物に行く際に『今日はあの電信柱まで休憩なしで歩くで〜』と自分自身で目標を立て、それを達成すると『よし、できた!』『やっぱり外は気持ちいいな〜』と笑顔で言ってくれるようになりました。



### いつまでも、昔のような 元気な笑顔で

今では訪問すると「まっちゃんよ〜。」と嬉しそうに声をかけてくれるようになって、介護させて頂いている私も本当に嬉しいです。私たちはただ単純に介護のお世話をしているだけではなく、ご縁を頂いた利用者さん達が昔のように、元気な笑顔に変わって頂くためのお手伝いが一つでも出来たらいいな〜という気持ちでこの仕事をさせて頂いています。後藤さんを始め、たくさんの利用者さんから頂いている心の底からの喜びの一言で、私達はたくさんの勇気を頂いています。

私達の目指すもの

介護士インタビュー

利用者さまのお話



## ヘルパーさんに 頼んでよかったわあ

82歳男性 松本さんのお話

### 松本さんとの出会い

奥様と2人暮らしの松本さん、奥様より「夫が最近お風呂に入りたがらないから、聞いてもらっていいかな～」と相談を受けたのは2011年の梅雨の時期でした。



### 松本さんの抱える悩み

本人に話を聞いてみると、「お風呂には入りたいけど、妻と二人だし何かあった時が怖いよな～」「腕が上がらなくなったので髪を洗ったり背中を洗ったりができなくなってな～」というお悩みをお聞きました。



なんとかして「松本さんのその不安を取り除き、大好きだったお風呂に安心して入ってもらいたい」そう私たちは考えました。『松本さん、私たちがお風呂に入る手伝いをしますよ。湯船に入ると疲れも取れますし、体も心もスッキリしますよ!』と言うと、「でも恥ずかしいな～」「そこまでしてお風呂にはいらんといけんのかな～」という松本さん。『洗髪や背中を洗うのはお手伝いしますし、体が痒いって言っていたのも治まるかもしれませんよ。松本さんのペースに合わせてみますので、入ってみましょうよ』と伝えると「そうやな～、あなたたちがそう言ってくれるなら入ってみようかな～」と言ってくれ、週1回のペースでお風呂に入ってくれるようになりました。

### お風呂の日が 楽しみになりました

今では週3回、お風呂に入る日はカレンダーに赤い文字で【お風呂の日】と書いてあり、ヘルパーが訪問すると「待っちゃったで～!」と笑顔で話しかけて頂けるようになりました。お風呂から出て、さっぱりとした表情で冷たい麦茶を飲む松本さんの姿を見ると、私達も本当に嬉しくなります。



### 私達の考える介護とは

私たちは、介護とは単純に決められた作業をするだけではなく、介護サービスを受けてくださる利用者の皆さんと心の通ったコミュニケーションをとることだと考えています。利用者さんの不安が一つでも多く解決でき、笑顔で「待っちゃったで～!」と言ってもらえることこそが、介護のみかたスタッフ全員の最高の喜びです。





私達がお世話いたします!

「待ちよつたで〜。」  
その一言が聞きたいから



介護士  
藤野さん

訪問ヘルパー歴10年以上のベテランヘルパーです。落ち着いた雰囲気と柔らかい言葉で、皆を癒しています。



介護士  
原さん

接客業が長く、よく気付くので、おもいやりの達人と呼ばれています。痒いところに手が届くサービスがとても好評です。



介護士  
佐藤さん

「あなたは綺麗な仕事をするわね〜」と、利用者さんによく言われます。常に利用者さんの視点にたって働いています。



介護士  
西山さん

いつも笑顔で何でもテキパキとこなしていきます。「西山さんが来ると、こちらまで元気になるよ」と言われる元気印です。



介護士  
室さん

利用者さんを、「その気」にさせる名人です。あやとり、折り紙など得意で、いつの間にか一緒に楽しく行っています。

利用者の皆さまの笑顔が、私達の元気のもとです。

## サービス対象になるもの



排泄介助



食事の介助



服薬の介助



身体の清拭  
入浴の介助



身だしなみの整容  
洗面



着替えの介助  
体位変換



通院  
外出等の介助



共に行う家事



居室の掃除



葉の受け取り



洗濯



一般的な食事の準備  
調理・後片付け



生活必需品の  
買い物

## サービス対象にならないもの



利用者以外の  
物に係る洗濯・調理  
買物・布団干し



来客の応接



主としての  
利用者が使用する  
居室等以外の掃除



自家用車の洗車  
清掃



単なる見守り  
(留守番)や  
話しみの相手



草むしり  
花木の水遣り  
植木の剪定等の園芸



犬の散歩等  
ペットの世話



家具・電気器具等の  
移動・修繕  
模様替え



大掃除  
窓のガラス磨き  
床のワックスがけ



室内外家屋の修理  
ペンキ塗り



正月・節句等のために  
日常より特別な  
手間をかけて行う調理